学校便り

やさか小

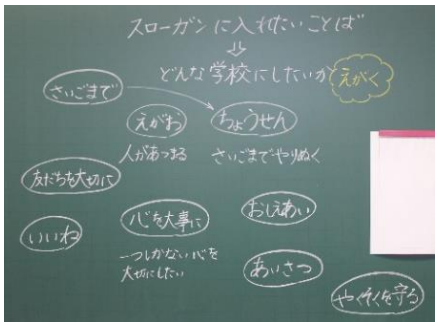
浜田市立弥栄小学校
浜田市弥栄町長安本郷 325-1

～描き　やりきり　創り出す～　令和８年５月号（文責　毛利）

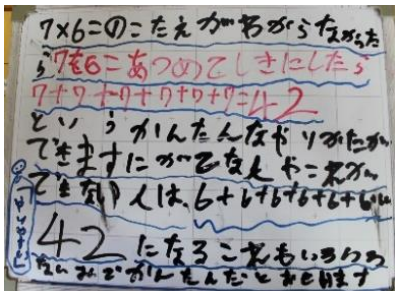
「描き　やりきり　創り出す」②
～学びとくらしの基盤づくりを大切に～

１学期のはじめに，「４・５月とじっくり時間をかけて学びとくらしの基盤を創ってほしい。」という話を職員にしました。担任は，子どもたちの思いを丁寧に引き出し，この１年間どう学ぶのか，どう生活をするのか，学級の基盤となるところを，実践を通して大切に築いています。何気ない日常に大切な学びがあります。一例を紹介します。

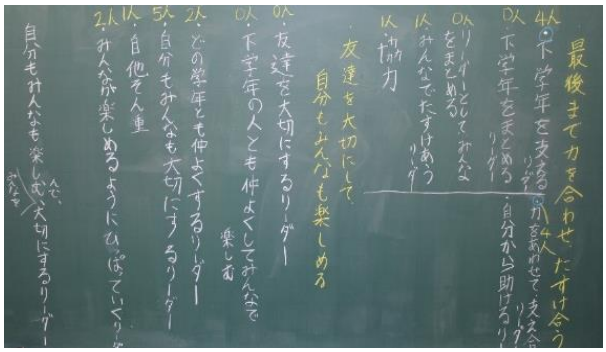
右は，１・２年生が道徳で学校のくらしについて学習をしている様子です。教科書の絵から，学校のくらしと，そのくらしの中での人の気持ちを自分なりにとらえ，学校生活への意欲を高めています。また，自分の考えを最後まで伝えきる姿も見られ，よい学びのスタートができているなと感じました。



左は，やうね学級の黒板です。どんな学校にしていきたいのかをみんなで考えていました。ちょっと分かりにくいですが，黒板には，「こんな学校にしたい。」「そのためにこんなことを大事にしたい。」という子どもたちの「描き」が書かれています。その描きを，多くの活動の中で「やりきり」，自分（たち）の学校を自分（たち）で創り出してほしいと願っています。



右は，３・４年生が算数で自分の考えをまとめたホワイトボードです。自分の考えを数学的な言葉を使いながら最後まで書ききっています。考えを書ききることで，自分の考えは整理され，いっそう深まっていきます。この学び方を大事にしてほしいです。



左は，全校スローガンについて話し合っていた５・６年教室の黒板です。５・６年生が下級生の考えを吸い上げ，全校みんなの思いや願いが込められたスローガンができました。これからの一つ一つの活動の中で，スローガン達成に向けた取り組み方を「描き」，それを「やりきり」，学校をみんなで「創り出して」ほしいです。

左は，１・２年生が図書館の利用学習をしているところです。「図書館の正しい使い方」「図書館でできること」を学んでいました。学びを描く中で図書館を利用することは多くあります。よりよく図書館を使用し，自分の学びを創り出してほしいですね。

右は，全校でそうじの仕方について学習している様子です。正しいそうじを「描いて」，最後まで「やりきり」，きれいな学校を「創り出して」いくためには，その方法を知ることは大事です。よりよいそうじにつながる大切な学びの時間でした。

みんなで創り出した１年生を迎える会
～５・６年生ありがとう～

４月２４日（金）１年生を迎える会をしました。笑顔いっぱいの素敵な集会活動になりました。

１年生も５月を迎え，少しずつ学校生活に慣れてきました。学校がどんなところなのか分かってきたことが安心感につながっていると思います。上級生はいつも１年生の学校生活をあらゆる場面で支えてくれています。頼りになる弥栄小学校の子どもたちです。１年生にとってうれしい時間になるように，５・６年生を中心に「描き　やりきり　創り出す」ことができた集会でした。４月を迎え，わずか数週間で集会を創り出すことができた子どもたちの力に大きな感動を覚えました。１年生が喜んでくれる集会にするためにどんなことをしていきたいのかを「描き」，それを「やりきり」，みんなでやさしさあふれた１年生を迎える会を「創り出して」いきました。こうしたみんなで創り出す経験を積み上げ，生きる支えとなる「協働や自治」をたくさん蓄えてほしいと願っています。そして，１２人しかいない５・６年生なので，今後，苦労することが多くあると思います。しかし，その苦労して創り出す一つ一つの経験が全校みんなの幸せにつながっていき，５・６年生にとっての大切な学びになると思います。

弥栄小中連携教育～小中合同職員会議～

５月１１日（月）に弥栄小中合同の職員会議を行いました。はじめに中学生の学習の様子を参観しました。前向きに学びを進めている姿が立派でした。小中の系統の中で，連続した学びを積み上げていくことはとても大事なことです。

授業参観後には各部会の協議会を行いました。「授業づくり部」，「学習習慣づくり部」，「健康づくり部」，「事務部」，「用務部」ごとに協議をしました。浜田市の教育方針の中に，小中連携の大きなテーマとして「自分で計画を立てて実践し振り返る力の育成」があります。これを受け，今年度から弥栄中学校ブロック小中連携教育の主題として**「学びとくらしを創造する子どもの育成」**を設けました。この主題を実現していくために，部会ごとに取り組んでいきます。自分の学びを創造できる子どもたち，くらしを創造できる子どもたちを育てていくために，**小中の連携を「目的」ではなく，有効な「手段」として機能**させていきたいと考えています。